

ほ場条件下における遺伝子組換えダイズとソルマメとの自然交雑  
(栽培実験期間:平成19年度)

確認項目		確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、隔離距離による交雑防止措置を行っています。同種栽培作物までの距離が10m以上(約15m)ある事を確認しました。(研究所の外の同種栽培作物のほ場は約400m以内に無し)。
	○モニタリング措置について	本栽培実験では必要ありません。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験種子を容器に入れ他の種子と分別した管理、ファスナー付きビニール袋及びコンテナでの分別した運搬及び実験種子数の確認による混入・こぼれ落ち防止、また、実験区画内の播種後と結実期の期間の防鳥網の設置及び栽培期間中のウサギ除け網柵の設置による拡散防止を行った事を確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	本栽培実験の実験区画全面にマルチを設置し、また、機械等の実験区画外搬出の際、簞等で払い落としを行った事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	収穫物は研究所内の実験室で調査しつつ他の作物と区分して施設可能な保管庫に保管中であることを確認しました。また、調査終了後研究所内の廃棄所に埋設して不活化処理を行った事を確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	収穫物以外の植物体については、研究所内の廃棄所に埋設して不活化処理を行った事、またその搬出の際のこぼれ落ち防止を行った事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	本栽培実験のほ場の後作として、平成20年度にトウモロコシの栽培を行っている事を確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	計画書が平成19年5月17日に公表された事を確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成19年6月2日に開催された事を確認しました。また、本栽培実験に対しての問い合わせの対応、希望者に対し本実験への見学の受け入れを行った事を確認しました。情報提供のフォローアップについても適切に対応していた事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について8件の情報がホームページに掲載された事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	本栽培実験の栽培終了及び結果の取り扱いについて、平成19年12月5日にホームページに掲載された事を確認しました。また、実験結果の概要については、20年9月30日にホームページに掲載された事を確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備している事を確認しました。

農業環境技術研究所 一般試験ほ場  
栽培実験区画マルチ



平成19年7月27日撮影  
図1

農業環境技術研究所 一般試験ほ場  
遺伝子組換えダイズ2回目播種後の防鳥網の設置



平成19年7月27日撮影  
図2

農業環境技術研究所 一般試験ほ場  
栽培実験区画周囲網柵



平成19年7月27日撮影  
図3

農業環境技術研究所 一般試験ほ場  
栽培実験区画マルチ(栽培終了後)



平成19年12月21日撮影  
図4